

中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：2020年度第3四半期（2020年10月～12月期）





調査対象企業：150企業 回答企業：150企業

（製造業：30社 建設業：20社 小売業：42社 サービス業：58社）

DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

*記号とDI値の関係

 快晴 ~30.1	 晴 30.0 ~10.1	 薄曇 10.0 ~▲10.0	 曇 ▲10.1 ~▲30.0	 雨 ▲30.1~
---	--	--	--	---

1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

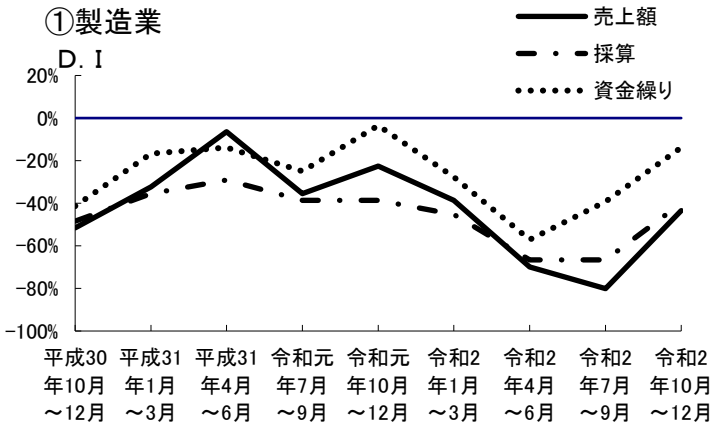
期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	平成30年 10~12月期		▲ 30.0		15.0		▲ 48.6		▲ 16.9		▲ 20.1
平成31年 1~3月期		▲ 36.7		20.0		▲ 47.5		▲ 28.8		▲ 23.3	
平成31年 4~6月期		▲ 23.4		30.0		▲ 45.0		▲ 12.1		▲ 12.6	
令和元年 7~9月期		▲ 36.7		20.0		▲ 41.0		▲ 15.2		▲ 18.2	
令和元年 10~12月期		▲ 26.7		10.0		▲ 46.2		▲ 25.4		▲ 22.1	
令和2年 1~3月期		▲ 43.3		0.0		▲ 55.0		▲ 23.7		▲ 30.5	
令和2年 4~6月期		▲ 69.0		▲ 25.0		▲ 77.5		▲ 60.3		▲ 58.0	
令和2年 7~9月期		▲ 55.2		▲ 20.0		▲ 65.9		▲ 54.2		▲ 48.8	
令和2年 10~12月期		▲ 41.5		▲ 20.0		▲ 64.2		▲ 37.9		▲ 40.9	
来期見通し 1~3月期		▲ 34.5		▲ 30.0		▲ 53.7		▲ 29.3		▲ 36.9	

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

2.業種別景気動向

①製造業



<前期比>

売上額 : 大幅好転 (▲80.1→▲43.4 ポイント)

採算 : 好転 (▲66.6→▲40.0 ポイント)

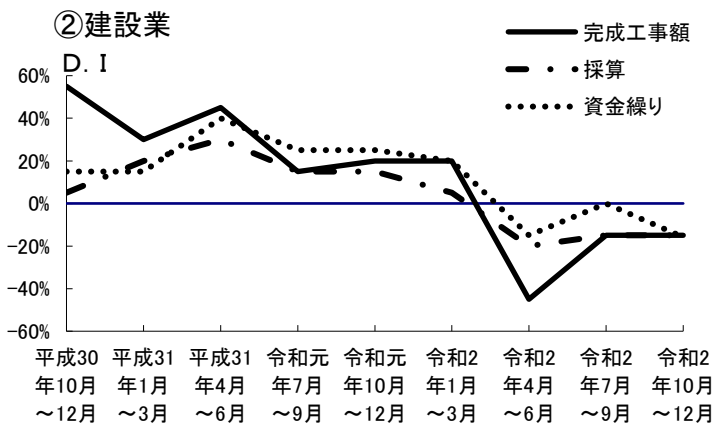
資金繰り : 好転 (▲39.3→▲13.8 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (32.0%)

2位 : 従業員の確保難 (16.0%)

②建設業



<前期比>

完成工事額 : 横ばい (▲15.0→▲15.0 ポイント)

採算 : 横ばい (▲15.0→▲15.0 ポイント)

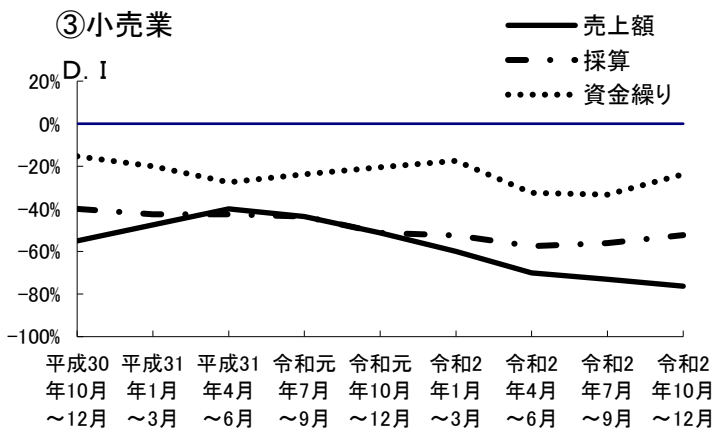
資金繰り : 悪化 (0.0→▲15.8 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 官公需要の停滞 (28.6%)

2位 : 民間需要の停滞、従業員の確保難 (21.4%)

③小売業



<前期比>

売上額 : やや悪化 (▲73.1→▲76.3 ポイント)

採算 : やや好転 (▲56.1→▲52.3 ポイント)

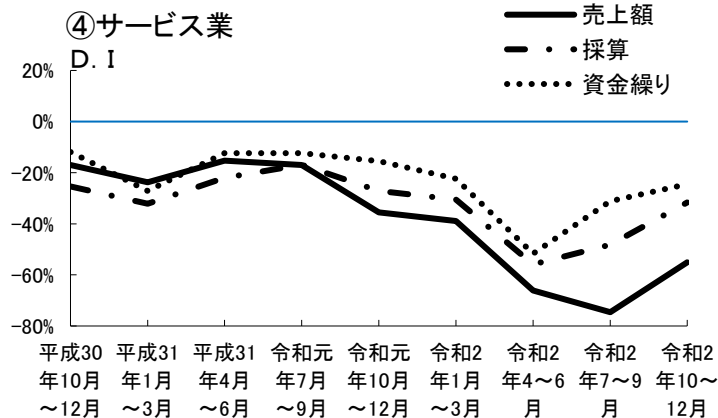
資金繰り : やや好転 (▲33.3→▲23.8 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (40.0%)

2位 : 購買力の他地域への流出 (15.0%)

④サービス業



<前期比>

売上額 : 好転 (▲74.6→▲55.1 ポイント)

採算 : 好転 (▲48.2→▲31.6 ポイント)

資金繰り : やや好転 (▲31.1→▲24.5 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (29.2%)

2位 : 利用者ニーズの変化 (12.5%)